

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-4-2	事業名	首都圏シティPR事業
担当	総務局東京事務所 二渡 純一 TEL03-3216-5090		
全 体 計 画			
事業内容	札幌の集客交流を図るため、首都圏において札幌の都市イメージやさっぽろブランド、観光の魅力などを発信する。 ①広告メディアを利用した札幌のPR 公共交通機関や各種情報誌などのメディアを活用し、首都圏居住者に札幌の都市イメージやさっぽろブランドを発信する。 ②観光集客イベントの開催 首都圏の集客力・認知度の高いエリアで、札幌の魅力である、食や自然、文化芸術などの集客交流資源を効果的にPRするイベントを開催する。 ③コンベンション・教育旅行の誘致 ビジネスや学校などの団体客の集客交流を促進するため、首都圏に数多く集中している企業や学会事務局、中・高校などを対象にコンベンションや教育旅行の誘致活動を行う。		<年度別の事業内容> 【H19～22年度】 イメージ広告等の掲出(公共交通機関広告制作掲出、旅行情報誌等の紙面の買取)、観光集客イベントの開催、コンベンション・教育旅行の誘致
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
事業内容	○広告メディアを利用した札幌のPR 山手・中央線トレインチャンネルや東急線TOQビジョン等を利用して11月～12月の6週間、雪まつりやホワイトイルミネーションなど冬の札幌をPRする映像を放映した。 ○首都圏でのシティPRイベントの開催 10月の2日間、お台場でさっぽろスイーツや札幌の芸術をPRするイベントを開催した。また、6月と12月には有楽町駅前でPMFやさっぽろスイーツ、雪まつり等のグッズの配布や抽選会を実施した。 ○コンベンション・教育旅行誘致 首都圏にある学会や組織団体の事務局を訪問し、全国大会や国際会議などの札幌開催を働きかけた。また、観光部や札幌観光協会と連携し、11月に教育旅行説明会を開催したほか、教育旅行提案書を作成するなどして学校や旅行代理店に情報提供を行った。 【決算額】 23,236千円		○広告メディアを利用した札幌のPR 銀座4丁目の街頭ビジョン「HOT VISION銀座」で市内他部局との連携のもと、5月26日から2月11日まで断続的に延べ6か月間具体的な施設・イベントを映像で紹介した。 また、東急線TOQビジョンで11月15日から30日まで雪まつりやホワイトイルミネーションなど冬の札幌をPRする映像を放映するとともに、東急線沿線で創刊されたフリーペーパーに雪まつりの広告を掲載した。 ○首都圏における観光集客イベントの開催 11月の2日間、上野公園でサッポロ・シティ・ジャズやさっぽろスイーツなど首都圏在住者に札幌の魅力を体験してもらうPRイベントを開催した。また、6月、9月には有楽町駅前でPMF、札幌スタイル、さっぽろオータムフェスト、定山溪温泉等のPRを行った。 ○コンベンション・教育旅行の誘致 年間を通じて、首都圏の学会事務局などに札幌へのコンベンション誘致の訪問活動を行った。特にAPEC誘致に関しては、国際部と協力し関係省庁等との連絡調整・情報収集など東京での誘致活動を行った。また横浜市内公立中学校に対し教育旅行意向調査を実施するとともに、観光部や札幌観光協会と連携し、11月に教育旅行説明会を開催したほか、学校にパンフレットを送付したり旅行代理店に情報提供を行うなどの活動を行った。 【決算額】 20,578千円
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)
規模	○広告メディアを利用した札幌のPR 5月～2月、銀座4丁目の街頭ビジョン「HOT VISION銀座」において札幌PR映像を放映。「さっぽろオータムフェスト」、「さっぽろ雪まつり」など、時機をとらえた具体的な情報を発信。延べ放映時間は135時間。10月及び2月、FMラジオ番組「Green LIFE」内において札幌のライフスタイルを切り口とした5分間コーナー「green tour to Sapporo city」を8回放送。13万人が聴取。これに関連して、BSテレビにおいて5分間スポット番組「green tour to Sapporo city」を1回放送。49万世帯が視聴。11月、新宿3丁目交差点において冬の札幌をPRする街頭広告を掲出 ○首都圏における観光集客イベントの開催 9月、上野公園において札幌の食や音楽文化などを体感できるイベント「SAPPORO GOURMETRIP 2009」を開催。4万3千人が来場。10月、代々木公園において開催された北海道物産展「北海道フェア in 代々木 2009」に秋から冬にかけての札幌の魅力をPRするブースを出展。21万3千人が来場 ○コンベンション・教育旅行の誘致 コンベンション誘致について、国際プラザと連携のうえ、年間を通じ首都圏の学会事務局等への訪問活動を展開。教育旅行誘致について、誘致拡大につながる情報発信、収集活動を展開 【決算額】 19,960千円		○広告メディアを利用した札幌のPR JR東京駅丸の内地下コンコースのデジタルサイネージ(電子看板)にオータムフェスト、ミュンヘン・クリスマス市、雪まつりのPR映像を放映計126日間。雪まつりのPRとして、観光コンベンション部が東京ディズニーリゾート内で実施したキャンペーンに合わせ、JR京葉線の車両1編成(10両)に車体広告を掲出35日間。JR東京駅京葉通路において、デジタルサイネージを用いたPRを展開した31日間。 月刊情報誌「オズマガジン」(12月号・10万部)で4ページ、フリーペーパー「東京リビング」(12月9日発行・23万部)で約1ページに、冬の札幌の魅力を紹介した記事広告を掲載した。 ○イベントによる札幌のPR 「鎌スタ北海道まつり」(9月)、「北海道フェア in 代々木」(10月)、「北海道はうまい～北の大地の恵み～in 恵比寿」(10月)等、他団体が主催するイベントに出展し、札幌の魅力を紹介。 イベントに併せてフリーペーパーに広告記事を掲載する「Happy Shufu Festival」(11月)、首都圏メディアが主催する「ふるさと祭り東京2011」(1月)に出展し、各種メディアと連携した幅広いPRを展開。 ○MICE(コンベンション等)の誘致 年間を通じて、国際プラザと連携したコンベンション等の誘致活動や情報発信、収集活動を行った。 【決算額】 13,618千円
	件数等		

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-4-2			事業名	首都圏シティPR事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
観光集客イベントの集客人数	7.1万人	7.0万人	7.6万人	25.6万人	87.5万人	7.5万人	
コンベンション開催団体への訪問回数	501件	547件	573件	589件	501件	620件	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 活動状況について市ホームページで公開するとともに、マスメディアや各種情報サイト、市観光メールマガジンを通じた情報発信により、市民と情報を共有するよう努めている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] 札幌と関係のある企業から、イベントや広告媒体で札幌をPRする機会の提供を受けた。また、首都圏メディア(テレビ局)が主催するイベントに、地元の系列テレビ局と共同で出展した。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり イベントの出展にあたり、企業・団体と連携することにより、さらに効果的かつ効率的なPRを展開できるよう努めている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>○広告メディアを利用した札幌のPR 視認性の高い広告として首都圏での設置が増えているデジタルサイネージを活用することにより、幅広く札幌のPRを実施することができた。 また、若い世代の女性が不況下の旅行市場を牽引することを示すデータがあることから、雑誌やフリーペーパーを用いて女性にターゲットを絞ったPRを展開することができた。</p> <p>○イベントによる札幌のPR 札幌や北海道と関係のある団体・企業が主催するイベントに出展することにより、来場者に対し効果的に札幌の魅力を伝えることができた。 フリーペーパーと連動したイベントや首都圏メディアが主催するイベントに出展し、一時的なPRにとどまらない、幅広く効果的な情報発信を行うことができた。</p> <p>○MICE(コンベンション等)の誘致 直接的に札幌への集客に結び付けることができた。</p>			<p>都市間競争が激化する中、他の自治体でも首都圏でのPR活動に力を入れてきており、札幌を突出して目立たせることが難しくなっているため、より効果的に「札幌らしさ」をPRする手法について検証していく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>札幌市産業振興ビジョンにおいて、「観光」が本市経済の成長をけん引する重点分野の一つに掲げられていることを踏まえ、観光コンベンション部をはじめとする関係部局との連携を図りながら、首都圏において時機をとらえた効果的なPRを展開する。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-4-2			事業名	首都圏シティPR事業					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	23,085		22,971		22,972		22,972		92,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	23,085		22,971		22,972		22,972		92,000	
予算	事業費	23,085		21,931		20,013		15,000		80,029	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	23,085		21,931		20,013		15,000		80,029	
実績	事業費	22,236		20,578		19,960		13,618		76,392	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	22,236		20,578		19,960		13,618		76,392	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)								83.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											
[22年度]											